



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 森永製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者（役職名） 代表取締役社長C00 （氏名） 森 信也

問合せ先責任者（役職名） コーポレートコミュニケーション部長 （氏名） 岡本 奈津子（TEL） 03-3456-0150

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	121,869	2.5	13,350	△3.7	13,447	△4.6	11,031	3.8
2025年3月期中間期	118,845	8.4	13,855	△2.2	14,099	△2.1	10,631	3.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 9,214百万円（△23.4%） 2025年3月期中間期 12,022百万円（△9.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	130.82	—
2025年3月期中間期	118.35	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	212,886	131,859	61.2
2025年3月期	209,986	132,393	62.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 130,230百万円 2025年3月期 130,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—	32.50			
2026年3月期（予想）			—	32.50	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	236,000	3.1	22,300	4.9	22,500	0.9	18,200	2.8	216.21

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	86,111,638株	2025年3月期	88,011,638株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	2,091,692株	2025年3月期	2,090,656株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	84,331,996株	2025年3月期中間期	89,831,311株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式 (2026年3月期中間期80,784株、2025年3月期80,784株) が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料P. 5「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(中間連結損益計算書関係)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	14
3. 補足情報	15

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の我が国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇が続くことによる消費者マインドの下振れリスクが残るほか、不安定な国際情勢や米国の関税政策による世界経済の後退が懸念されるなど、事業活動を取り巻く環境は依然として不確実な状況が続いております。

このような中、当社グループは「2030経営計画」の達成に向けて、その道筋をつくる2ndステージである「2024中期経営計画」の2期目として、引き続き飛躍に向けた成長軌道の確立に向けて成長性と資本収益性の好循環を生み出すべく、各事業の強化を図っております。

その結果、売上高は、主に好調な菓子食品事業、冷菓事業が牽引し、1,218億6千9百万円と前年同期実績に比べ30億2千4百万円(2.5%)の増収となりました。

損益については、増収及び価格改定効果がありましたが、原材料価格の高騰や物流費の増加、経営基盤の強化に向けたDXや人的資本への投資などにより、営業利益は前年同期実績に比べ5億5百万円(3.7%)減益の133億5千万円、経常利益も前年同期実績に比べ6億5千2百万円(4.6%)減益の134億4千7百万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、政策保有株式の売却に伴う特別利益計上などにより前年同期実績に比べ4億円(3.8%)増益の110億3千1百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間より、連結子会社の決算日を3月31日に統一しております。詳細はP.12「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)」をご覧ください。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造>

菓子食品事業

ビスケットカテゴリーでは、「森永ビスケット」は、発売30周年を迎えた「チョコチップクッキー」をはじめとした基幹品は堅調に推移しましたが、高単価商品が苦戦し、ブランド全体で前年同期実績をわずかに下回りました。

キャンディカテゴリーでは、「ハイチュウ」は、発売50周年を切り口としたプロモーションなどにより引き続き需要喚起に取り組みました。「ハイチュウミニ」は食感訴求を強化したことで好調に推移した一方、「ハイチュウプレミアム」が伸び悩み、ブランド全体で前年同期実績をわずかに下回りました。「森永ラムネ」は、夏場に受験生へ向けたプロモーションを実施し、パウチ形態の「大粒ラムネ」、ボトル形態いずれも好調が継続したほか、「生ラムネ玉」の好調も寄与し、前年同期実績を大きく上回りました。

チョコレートカテゴリーでは、「カレ・ド・ショコラ」は、6月に実施した価格改定以降、店頭回転への影響が見られますが、ハイカカオの健康需要拡大により「カカオ70」の好調が継続し、前年同期実績を上回りました。「ダース」は、基幹品の「ダース<ミルク>」「白いダース」が好調に推移し、前年同期実績を上回りました。「チョコボール」は、基幹品の好調継続に加え、大人向けの「大玉チョコボール」の好調も寄与し、前年同期実績を大きく上回りました。

食品カテゴリーでは、「森永ココア」は、引き続き健康ブランドとして需要喚起に取り組み、「純ココア」を中心に好調を維持し、前年同期実績を大きく上回りました。「森永甘酒」は、前年同期実績を下回りました。

なお、原材料等のコストアップへの対応として、2月・3月にチョコレートカテゴリー及びココアの一部商品、6月に「カレ・ド・ショコラ」、9月にチョコレート及びビスケットカテゴリー、ココアなど食品カテゴリーの一部商品において価格改定・内容量の減量を実施しました。さらに、一部商品では商品規格を見直す等の対策も講じております。これらの取組みの結果、収益性は着実に改善しております。

これらの結果、菓子食品事業全体の売上高は411億9千1百万円と前年同期実績に比べ25億2千8百万円(6.5%)増となりました。

損益については、原材料価格の高騰を増収及び価格改定効果で打ち返し、営業利益は前年同期実績に比べ15億9千5百万円(90.0%)増益の33億6千6百万円となりました。

冷菓事業

「ジャンボ」グループは、訪日外国人向けのプロモーションや消費者キャンペーンの展開など、断続的な話題喚起を行い、引き続き購買層の拡大に取り組みました。その結果、グループ全体で前年同期実績を上回りました。「板チョコアイス」は、“夏季限定”品質の展開やTVCMの投入により基幹品の販売が好調に推移し、前年同期実績を上回りました。「ザ・クレープ」は、春夏期における店頭での取扱いを拡大するとともに、満足感を高める品質変更やプロモーション展開により購買層が広がり、前年同期実績を大きく上回りました。「アイスボックス」は、盛夏期における暑さ対策需要の喚起やお酒の割材など、引き続き喫食シーンの拡大に取り組み、好調が継続しました。

なお、原材料等のコストアップに対する収益改善策として、主力品について、9月に価格改定・内容量の減量を実施しております。

これらの結果、冷菓事業全体の売上高は327億8千4百万円と前年同期実績に比べ22億9百万円(7.2%)増となりました。

損益については、原材料価格の高騰や物流費の増加を増収及び価格改定効果で打ち返し、営業利益は前年同期実績に比べ1億1千6百万円(2.8%)増益の42億4千8百万円となりました。

i n事業

「i nゼリー」は、日常生活における飲用シーンの訴求や、夏季限定品をフックとした暑さ対策需要に向けた店頭露出の拡大に取り組みましたが、酷暑による外出・運動機会の減少やPB商品拡大の影響もあり、前年同期実績を下回りました。「i nバー」は、販売什器を活用した店頭展開の強化により前年同期実績を上回りました。

これらの結果、i n事業全体の売上高は167億1千7百万円と前年同期実績に比べ8億4千6百万円(4.8%)減となりました。

損益については、減収や物流費の増加により、営業利益は前年同期実績に比べ9億6千8百万円(20.0%)減益の38億7千9百万円となりました。

通販事業

「おいしいコラーゲンドリンク」は、首都圏地区にて初のマス広告を展開し、認知拡大に取り組みました。一方で、節約志向の高まりや4月に実施した価格改定による解約等の影響により、期首時点の定期顧客数は前年と比較して減少しており、ブランド全体で前年同期実績を下回りました。「おいしい青汁」は、前年同期実績を下回りました。

これらの結果、通販事業全体の売上高は53億8千6百万円と前年同期実績に比べ3億5千4百万円(6.2%)減となりました。

損益については、価格改定効果もありましたが減収により、営業利益は前年同期実績に比べ2千5百万円(30.8%)減益の5千5百万円となりました。

事業子会社等

(株)アントステラは、全国の直営店における販売好調、大手量販店の銘店コーナーへの出店拡大と引き続き好調を維持しましたが、連結子会社の決算日統一により、前年同期にはホワイトデーなどの最需要期である3月実績が含まれていることが影響し、前年同期実績を下回りました。森永市場開発(株)は、猛暑による来場者の減少によりテーマパークにおける販売が苦戦し、前年同期実績を下回りました。

これらの結果、事業子会社等全体の売上高は49億8千7百万円と前年同期実績に比べ3億5千2百万円(6.6%)減となりました。

損益については、営業利益は前年同期実績に比べ8千7百万円(117.3%)増益の1億6千万円となりました。

〔国内における主な商品の前年同期比 (単位：%)〕

菓子食品事業		冷菓事業	
森永ビスケット	99	ジャンボグループ	104
ハイチュウ	99	板チョコアイス	108
森永ラムネ	133	ザ・クレープ	138
カレ・ド・ショコラ	107	アイスボックス	113
ダース	111	i n 事業	
チョコボール	121	i nゼリー	94
森永甘酒	96	i nバー	107
森永ココア	136	通販事業	
		おいしいコラーゲンドリンク	93

※表中の数値は国内販売実績にて算出

米国事業

「HI-CHEW」は、食品スーパーチャネルにおける取り扱いSKU数の拡大や新規チャネルの開拓に引き続き取り組みました。一方、カカオ高騰を背景に大手菓子メーカーがキャンディカテゴリーへの注力を強めたことで、競争環境は一層激化しております。加えて、インフレに伴う消費低迷により、コンビニチャネルにおける販売は引き続き伸び悩み、ブランド全体で前年同期実績を下回りました。ゼリー飲料「Chargel」は、商品理解促進に向けた新たなタグライン「Thirst-Quenching Snack」(喉の渇きも癒せるスナック)の訴求により、日常的なスポーツシーンにおける需要獲得に取り組んでおります。リアルチャネルでは引き続き導入拡大と店頭回転の向上に取り組み、ECチャネルでは着実に販売を伸ばしております。

これらの結果、米国事業全体の売上高は106億2千6百万円と前年同期実績に比べ3億6千8百万円(3.4%)減となりました。

損益については、減収に加え、米国の関税政策による影響、ならびに競争環境激化への対応として店頭での販促を強化したことによる販売促進費の増加により、営業利益は前年同期実績に比べ10億1千5百万円(54.0%)減益の8億6千4百万円となりました。

中国・台湾・輸出等

中国では、「HI-CHEW」の販売が引き続き好調に推移しましたが、日本製品の輸入販売は苦戦しました。台湾では、「i nゼリー」が好調に推移しました。探索・研究領域である東アジア・東南アジア・オセアニア地区や欧州においても、「HI-CHEW」のグローバルブランドとしてのさらなる拡大に向けて、取組みを進めております。

これらの結果、中国・台湾・輸出等全体の売上高は50億3千万円と前年同期実績に比べ1千6百万円(0.3%)増となりました。

営業利益は前年同期実績に比べ3億7千6百万円(54.7%)減益の3億1千2百万円となりました。

以上の結果、＜食料品製造＞の売上高は1,167億2千4百万円と前年同期実績に比べ28億3千2百万円(2.5%)増となりました。セグメント利益は128億8千7百万円と前年同期実績に比べ5億8千7百万円(4.4%)の減益となりました。

＜食料卸売＞

売上高は、38億4千万円と前年同期実績に比べ2億1千7百万円(6.0%)増となりました。セグメント利益は前年同期実績に比べ1億2千万円(28.7%)増益の5億3千9百万円となりました。

<不動産及びサービス>

売上高は、9億6百万円と前年同期実績に比べ1千9百万円(2.0%)減となりました。セグメント利益は3億8千5百万円と前年同期実績に比べ3千万円(7.1%)の減益となりました。

<その他>

売上高3億9千7百万円、セグメント利益6千6百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産の残高は2,128億8千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億円増加しております。主な要因は、現金及び預金や投資有価証券が減少した一方で、増収による売掛金や商品及び製品の増加に加えて、米国第2工場の建設の進捗により有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は810億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億3千5百万円増加しております。主な要因は、買掛金や未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,318億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億3千4百万円減少しております。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上で増加した一方で、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.1ポイント低下し、61.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績につきましては、主に菓子食品事業・冷菓事業が好調であったことから増収となりましたが、i n事業の苦戦などもあり、売上高は期首予想を下回りました。営業利益は価格改定効果の順調な発現により原材料価格等の高騰影響を打ち返している一方で、i n事業の減収影響や米国事業の競争環境激化に伴う販促コストの増加などにより減益となりましたが、各段階利益において期首予想は上回りました。

2026年3月期通期連結業績予想数値につきましては、当中間連結会計期間における業績並びに、下期における国内主要事業・米国事業の消費環境、価格改定をはじめとした収益性改善の継続や原材料価格等の高騰影響の軟化、米国関税政策の影響などを総合的に勘案した結果、以下のとおり修正いたします。

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 240,000	百万円 21,400	百万円 21,700	百万円 17,800
今回修正予想(B)	236,000	22,300	22,500	18,200
増減額(B-A)	△4,000	900	800	400
増減率(%)	△1.7	4.2	3.7	2.2
(参考)前期連結実績 (2025年3月期)	228,957	21,266	22,304	17,710

※業績予想の前提となる在外子会社換算レートにつきましては、1米ドル147円としております。

2026年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり32円50銭で変更ありません。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(2025年11月12日)公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,062	28,254
受取手形及び売掛金	27,340	28,326
商品及び製品	21,391	22,521
仕掛品	592	619
原材料及び貯蔵品	15,969	16,545
その他	8,380	9,568
貸倒引当金	△69	△68
流動資産合計	104,667	105,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,461	33,932
機械装置及び運搬具(純額)	26,797	24,791
土地	12,099	11,661
その他(純額)	6,624	12,045
有形固定資産合計	79,982	82,430
無形固定資産		
ソフトウェア	2,835	2,997
その他	1,239	1,056
無形固定資産合計	4,075	4,054
投資その他の資産		
投資有価証券	10,251	9,020
退職給付に係る資産	7,150	7,233
繰延税金資産	1,957	2,335
その他	1,937	2,088
貸倒引当金	△34	△42
投資その他の資産合計	21,261	20,635
固定資産合計	105,319	107,119
資産合計	209,986	212,886

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,608	23,118
短期借入金	-	3,000
未払金	10,877	10,797
未払法人税等	1,974	4,563
返金負債	5,643	5,641
賞与引当金	3,308	3,394
株主優待引当金	-	116
その他	8,476	7,407
流動負債合計	51,889	58,038
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	10,000	7,000
役員株式給付引当金	102	118
環境対策引当金	3	-
退職給付に係る負債	2,082	2,319
資産除去債務	67	68
受入敷金保証金	3,668	3,628
その他	778	853
固定負債合計	25,703	22,988
負債合計	77,592	81,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	87,076	88,376
自己株式	△5,252	△5,235
株主資本合計	117,623	118,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,761	5,278
繰延ヘッジ損益	△124	9
為替換算調整勘定	4,864	3,442
退職給付に係る調整累計額	2,741	2,559
その他の包括利益累計額合計	13,242	11,290
非支配株主持分	1,527	1,628
純資産合計	132,393	131,859
負債純資産合計	209,986	212,886

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	118,845	121,869
売上原価	70,171	71,953
売上総利益	48,673	49,916
販売費及び一般管理費	34,817	36,566
営業利益	13,855	13,350
営業外収益		
受取利息	46	65
受取配当金	213	160
補助金収入	107	52
その他	90	83
営業外収益合計	457	362
営業外費用		
支払利息	55	68
持分法による投資損失	101	95
減価償却費	10	12
その他	46	88
営業外費用合計	213	264
経常利益	14,099	13,447
特別利益		
固定資産売却益	246	215
投資有価証券売却益	895	1,986
特別利益合計	1,141	2,202
特別損失		
固定資産除売却損	192	141
契約解約金	-	151
その他	-	0
特別損失合計	192	293
税金等調整前中間純利益	15,047	15,356
法人税、住民税及び事業税	4,246	4,466
法人税等調整額	74	△234
法人税等合計	4,321	4,232
中間純利益	10,726	11,124
非支配株主に帰属する中間純利益	94	92
親会社株主に帰属する中間純利益	10,631	11,031

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	10,726	11,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△400	△483
繰延ヘッジ損益	△243	136
為替換算調整勘定	2,135	△1,392
退職給付に係る調整額	△195	△170
その他の包括利益合計	1,295	△1,909
中間包括利益	12,022	9,214
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,805	9,080
非支配株主に係る中間包括利益	217	134

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	15,047	15,356
減価償却費	4,771	4,959
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	13	15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	92	146
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△240	△252
賞与引当金の増減額(△は減少)	69	199
株主優待引当金の増減額(△は減少)	81	116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	10
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△145	△3
受取利息及び受取配当金	△259	△225
補助金収入	△107	△52
支払利息	55	68
持分法による投資損益(△は益)	101	95
投資有価証券売却損益(△は益)	△895	△1,986
固定資産売却損益(△は益)	△193	△213
固定資産除却損	140	139
売上債権の増減額(△は増加)	2,304	△823
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,521	△2,303
仕入債務の増減額(△は減少)	587	1,733
その他	△2,257	△407
小計	16,643	16,572
利息及び配当金の受取額	269	226
利息の支払額	△53	△64
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△6,170	△1,988
補助金の受取額	107	238
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,796	14,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△104	-
有価証券の償還による収入	2,500	-
有形固定資産の取得による支出	△8,037	△7,510
有形固定資産の売却による収入	473	659
無形固定資産の取得による支出	△1,147	△532
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	54	2,537
関係会社株式の取得による支出	△598	-
その他	△424	△390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,285	△5,236

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	3,000
長期借入れによる収入	-	500
長期借入金の返済による支出	-	△3,500
自己株式の取得による支出	△2,455	△4,751
配当金の支払額	△4,987	△5,160
非支配株主への配当金の支払額	△134	△68
その他	△171	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,749	△10,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	843	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,395	△469
現金及び現金同等物の期首残高	47,101	30,845
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の期首残高増減額(△は減少)	-	△2,331
現金及び現金同等物の中間期末残高	43,706	28,045

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2025年5月9日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において、自己株式1,900,000株の取得を行い、この結果、自己株式が4,749百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は2025年5月9日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月13日付で、自己株式1,900,000株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、利益剰余金が4,768百万円、自己株式が4,768百万円減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、利益剰余金が88,376百万円、自己株式が5,235百万円となりました。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった(株)アントステラ、12月31日であった台湾森永製菓股份有限公司、米国森永製菓(株)、森永アメリカフーズ(株)、森永アジアパシフィック(株)は、各社決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当中間連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である上海森永食品有限公司、森永食品(浙江)有限公司は、各社決算日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当中間連結会計期間より連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

これらの変更に伴い、当中間連結会計期間は、2025年4月1日から2025年9月30日までの6ヶ月を連結しております。

なお、当該連結子会社のうち、(株)アントステラについては、2025年3月1日から2025年3月31日までの損益、その他連結子会社については、2025年1月1日から2025年3月31日までの損益を利益剰余金の増減として調整しております。

(中間連結損益計算書関係)

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」等の適用)

当中間連結会計期間においては、「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第46号 2024年3月22日)第7項の定めを適用しているため、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	113,892	3,623	925	118,441	404	118,845	—	118,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	141	2	149	419	568	△568	—
計	113,898	3,764	927	118,590	823	119,413	△568	118,845
セグメント利益	13,474	419	415	14,309	77	14,386	△530	13,855

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△530百万円には、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△541百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	116,724	3,840	906	121,471	397	121,869	—	121,869
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	206	2	215	441	657	△657	—
計	116,731	4,046	908	121,687	839	122,526	△657	121,869
セグメント利益	12,887	539	385	13,812	66	13,879	△529	13,350

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△529百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△547百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社グループは、顧客との契約から生じる収益を顧客との契約に基づき、各セグメントを主要な売上管理区分に分解しております。

(単位：百万円)

報告セグメント	主な製品・地域区分	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
食料品製造	菓子食品事業	38,663	41,191
	冷菓事業	30,575	32,784
	i n 事業	17,563	16,717
	通販事業	5,740	5,386
	事業子会社等	5,339	4,987
	国内計	97,884	101,068
	米国事業	10,994	10,626
	中国・台湾・輸出等	5,014	5,030
	海外計	16,008	15,656
	小計	113,892	116,724
食料卸売	業務用食品の卸売	3,623	3,840
不動産及びサービス	ゴルフ場経営	379	352
その他(注)		404	397
顧客との契約から生じる収益 合計		118,299	121,315
不動産及びサービス	不動産賃貸	546	553
その他の収益 合計		546	553
外部顧客への売上高 合計		118,845	121,869

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

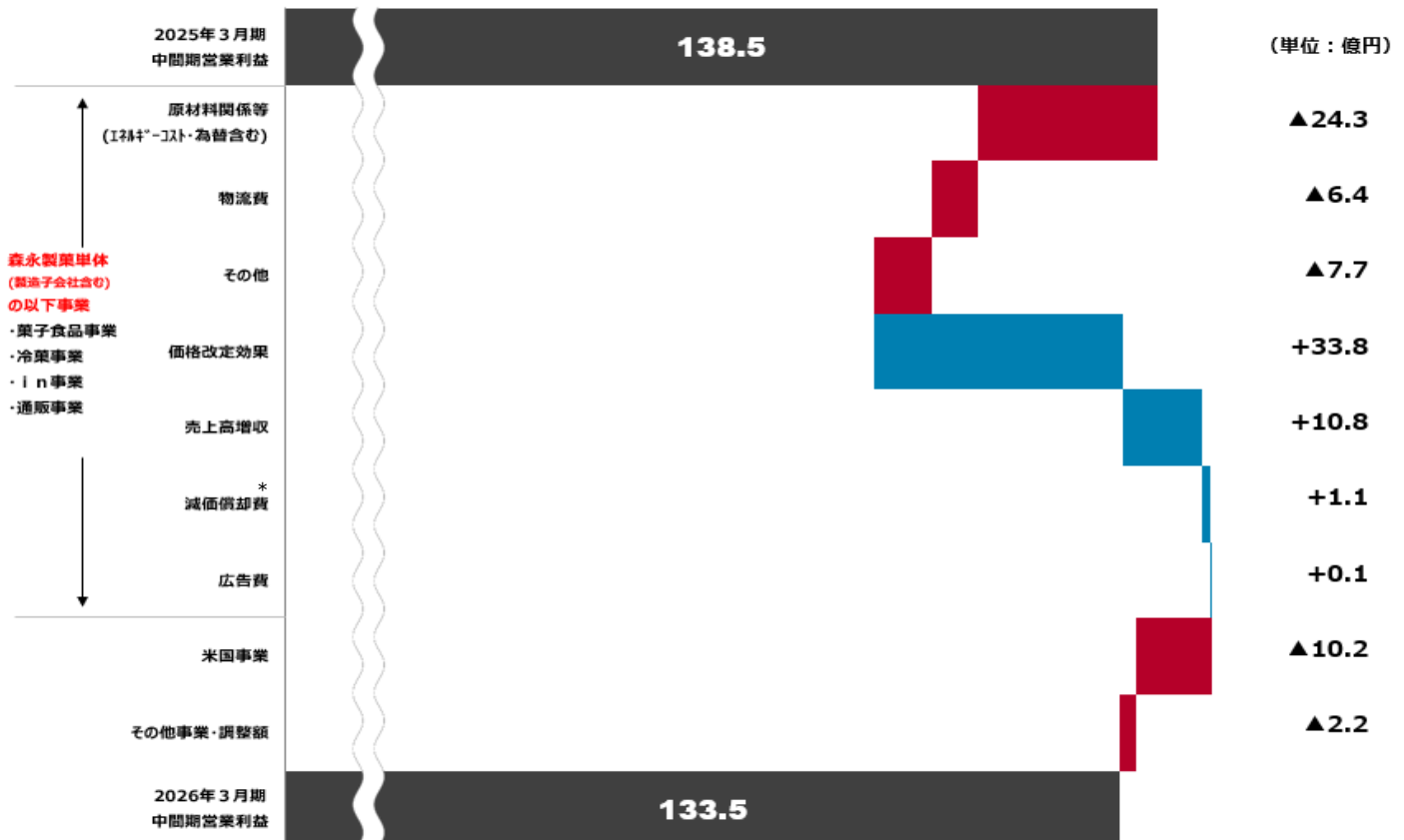
3. 補足情報

① 業績

（単位：百万円）

	2025年3月期 中間期		2026年3月期 中間期		前期比較		
	金 額	売 上 高 比率(%)	金 額	売 上 高 比率(%)	金 額	売 上 高 比率(%)	増減率(%)
売上高	118,845		121,869		3,024		2.5
売上原価	70,171	59.0	71,953	59.0	1,782	△ 0.0	2.5
売上総利益	48,673	41.0	49,916	41.0	1,243	0.0	2.6
販売費及び一般管理費	34,817	29.3	36,566	30.0	1,749	0.7	5.0
販売促進費	3,260	2.7	3,372	2.8	112	0.1	3.4
広告宣伝費	5,450	4.6	5,653	4.6	203	0.0	3.7
運賃保管料	9,696	8.2	10,213	8.4	517	0.2	5.3
給料手当	5,306	4.5	5,604	4.6	298	0.1	5.6
賞与引当金繰入額	1,704	1.4	1,852	1.5	148	0.1	8.6
その他	9,398	7.9	9,869	8.1	471	0.2	5.0
営業利益	13,855	11.7	13,350	11.0	▲ 505	△ 0.7	△ 3.7
営業外収益	457	0.4	362	0.3	▲ 95	△ 0.1	△ 20.7
営業外費用	213	0.2	264	0.2	51	0.0	23.7
経常利益	14,099	11.9	13,447	11.0	▲ 652	△ 0.9	△ 4.6
特別利益	1,141	1.0	2,202	1.8	1,061	0.8	92.9
特別損失	192	0.2	293	0.2	101	0.0	52.1
税金等調整前中間純利益	15,047	12.7	15,356	12.6	309	△ 0.1	2.1
法人税等	4,321	3.6	4,232	3.5	▲ 89	△ 0.1	△ 2.0
中間純利益	10,726	9.0	11,124	9.1	398	0.1	3.7
非支配株主に帰属する中間純利益	94	0.1	92	0.1	▲ 2	△ 0.0	△ 2.9
親会社株主に帰属する中間純利益	10,631	8.9	11,031	9.1	400	0.2	3.8

② 営業利益増減分析



* 売上原価計上分のみ

③ 国内・海外売上高

（単位：百万円）

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率（％）
国内売上高	102,643	106,051	3,408	3.3
海外売上高	16,202	15,817	▲ 385	△ 2.4
連結売上高	118,845	121,869	3,024	2.5

（注）売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率（対連結売上高）	13.6%	13.0%
-----------------	-------	-------

④ 事業別 売上高・営業利益

（単位：億円）

報告セグメント	主な製品・地域区分	売上高				営業利益			
		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率（％）	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率（％）
食料品製造	菓子食品事業	386	411	25	6.5	17	33	16	90.0
	冷菓事業	305	327	22	7.2	41	42	1	2.8
	in事業	175	167	▲ 8	△ 4.8	48	38	▲ 10	△ 20.0
	通販事業	57	53	▲ 4	△ 6.2	0	0	▲ 0	△ 30.8
	事業子会社等	53	49	▲ 4	△ 6.6	0	1	1	117.3
	国内計	978	1,010	32	3.3	109	117	8	7.4
	米国事業	109	106	▲ 3	△ 3.4	18	8	▲ 10	△ 54.0
	中国・台湾・輸出等	50	50	0	0.3	6	3	▲ 3	△ 54.7
	海外計	160	156	▲ 4	△ 2.2	25	11	▲ 14	△ 54.2
	小計	1,138	1,167	29	2.5	134	128	▲ 6	△ 4.4
食料卸売		36	38	2	6.0	4	5	1	28.7
不動産及びサービス		9	9	▲ 0	△ 2.0	4	3	▲ 1	△ 7.1
その他		4	3	▲ 1	△ 1.5	0	0	▲ 0	△ 14.1
調整額等						▲ 5	▲ 5	0	—
合計		1,188	1,218	30	2.5	138	133	▲ 5	△ 3.7

（注）1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 菓子食品事業は、inブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 通販事業及び事業子会社等は海外向けの売上高が含まれております。

4 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。

5 調整額等は主に事業に帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

⑤ 設備投資、減価償却費、研究開発費

（単位：百万円）

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額
設備投資額	4,106	2,499	▲ 1,607
減価償却費	4,771	4,959	188
研究開発費	1,459	1,497	38

⑥ 2030経営計画における重点領域 売上高

（単位：億円）

重点領域	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率（％）
in事業	183	176	▲ 7	△ 4.1
冷菓事業	305	327	22	7.2
通販事業	57	53	▲ 4	△ 6.2
米国事業	109	106	▲ 3	△ 3.4
合計	656	664	8	1.1
重点領域売上高比率 （対連結売上高）	55.3%	54.5%		

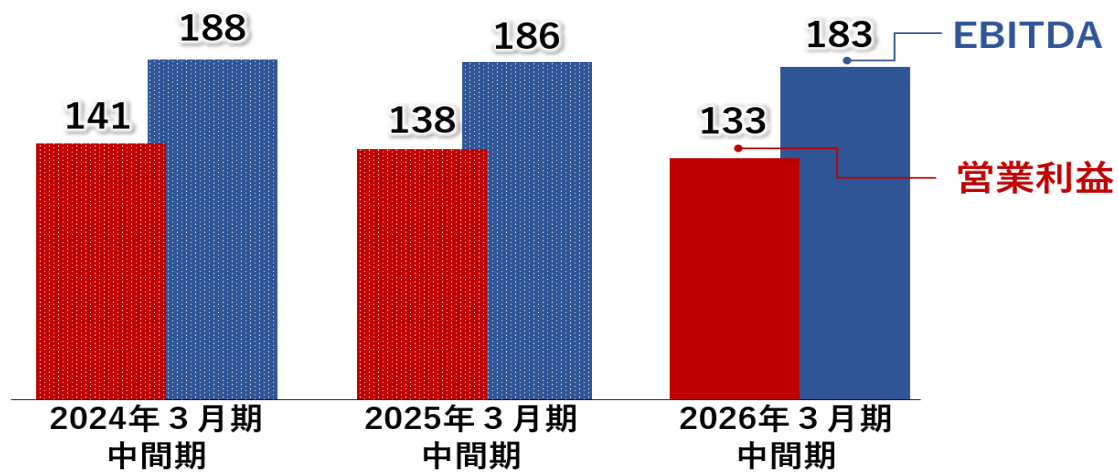
（注）1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 in事業はinブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 通販事業は海外向けの売上高が含まれております。

⑦ 営業利益及びEBITDA推移

（単位：億円）



（注）EBITDAは簡易版を使用→営業利益＋減価償却費

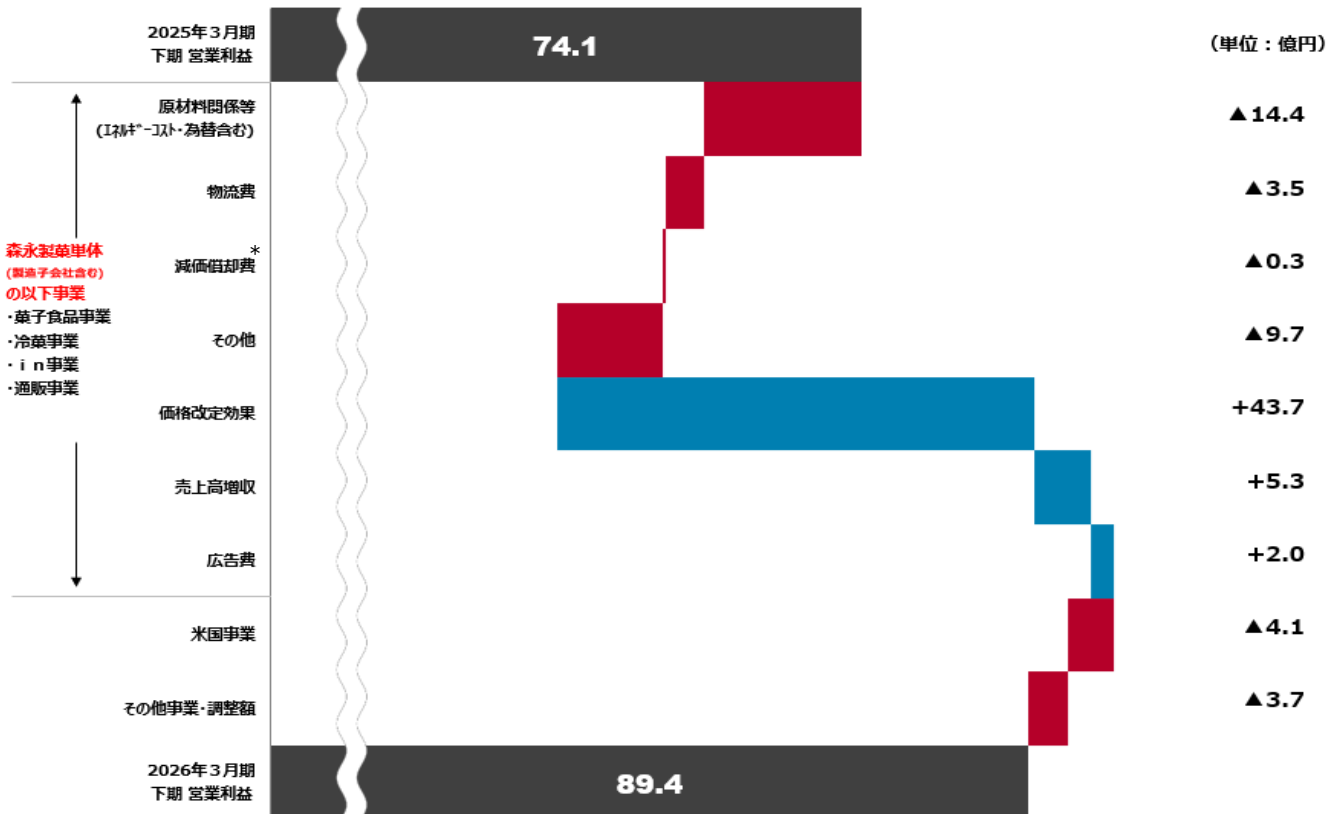
【下期予想】

① 業績

（単位：百万円）

	2025年3月期 第3・4四半期	2026年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	110,112	114,130	4,018	3.6
営業利益	7,410	8,949	1,539	20.8
経常利益	8,204	9,052	848	10.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,078	7,168	90	1.3

② 営業利益増減分析



* 売上原価計上分のみ

③ 国内・海外売上高

（単位：百万円）

	2025年3月期 第3・4四半期	2026年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率(%)
国内売上高	95,924	98,248	2,324	2.4
海外売上高	14,188	15,882	1,694	11.9
連結売上高	110,112	114,130	4,018	3.6

（注）売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

海外売上高比率（対連結売上高）	12.9%	13.9%
-----------------	-------	-------

④ 事業別 売上高・営業利益

（単位：億円）

報告セグメント	主な製品・地域区分	売上高				営業利益			
		2025年3月期 第3・4四半期	2026年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率（％）	2025年3月期 第3・4四半期	2026年3月期 第3・4四半期 予想	増減額	増減率（％）
食料品製造	菓子食品事業	457	463	6	1.2	21	34	13	60.2
	冷蔵事業	187	202	15	7.6	1	9	8	663.0
	in事業	137	138	1	0.8	24	23	▲ 1	△ 5.1
	通販事業	54	55	1	1.3	3	7	4	77.5
	事業子会社等	59	66	7	12.6	2	6	4	133.4
	国内計	896	925	29	3.2	53	80	27	49.6
	米国事業	99	102	3	3.1	11	7	▲ 4	△ 34.2
	中国・台湾・輸出等	40	54	14	34.4	▲ 1	▲ 0	1	—
	海外計	140	157	17	12.2	9	7	▲ 2	△ 29.3
	小計	1,036	1,082	46	4.4	63	87	24	37.3
食料卸売		50	43	▲ 7	△ 13.2	10	4	▲ 6	△ 53.7
不動産及びサービス		9	10	1	7.2	3	4	1	20.9
その他		4	4	0	7.0	0	0	▲ 0	△ 31.4
調整額等						▲ 4	▲ 8	▲ 4	—
合計		1,101	1,141	40	3.6	74	89	15	20.8

（注）1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

2 菓子食品事業は、inブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。

3 通販事業及び事業子会社等は海外向けの売上高が含まれております。

4 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。

5 調整額等は主に事業に帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

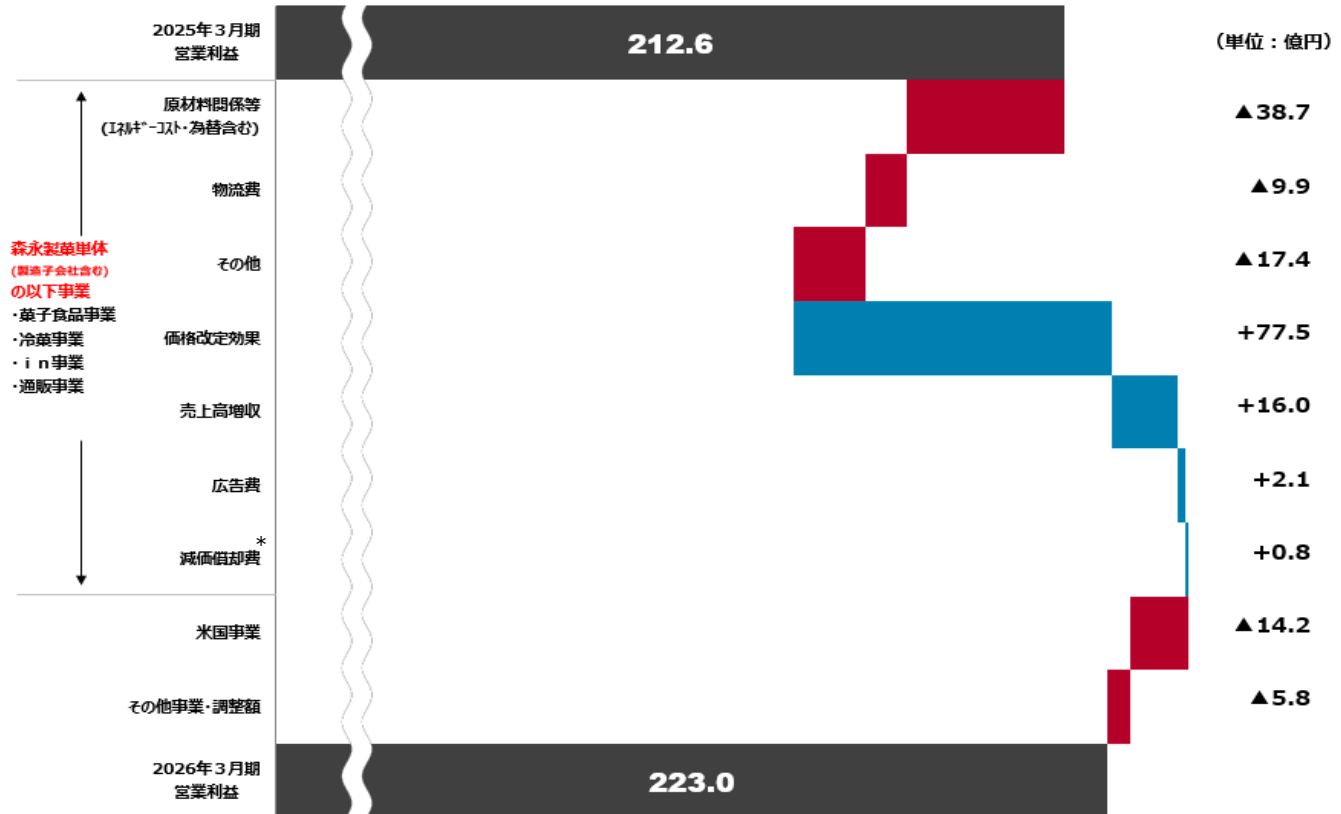
【通期予想】

① 業績

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期 予想	増減額	増減率(%)
売上高	228,957	236,000	7,043	3.1
営業利益	21,266	22,300	1,034	4.9
経常利益	22,304	22,500	196	0.9
親会社株主に帰属する当期純利益	17,710	18,200	490	2.8

② 営業利益増減分析



* 売上原価計上分のみ

③ 事業別 売上高・営業利益

（単位：億円）

報告セグメント	主な製品・地域区分	売上高				営業利益			
		2025年3月期	2026年3月期 予想	増減額	増減率(%)	2025年3月期	2026年3月期 予想	増減額	増減率(%)
食料品製造	菓子食品事業	844	875	31	3.6	39	68	29	73.7
	冷蔵事業	493	530	37	7.4	42	52	10	22.4
	in事業	313	306	▲7	△2.4	73	62	▲11	△15.0
	通販事業	111	109	▲2	△2.5	4	7	3	59.2
	事業子会社等	112	116	4	3.5	3	7	4	130.0
	国内計	1,875	1,936	61	3.2	163	197	34	21.3
	米国事業	209	209	▲0	△0.3	30	16	▲14	△46.3
	中国・台湾・輸出等	90	104	14	15.6	4	2	▲2	△52.9
	海外計	300	313	13	4.5	35	18	▲17	△47.3
	小計	2,175	2,250	75	3.4	198	216	18	9.0
食料卸売		86	82	▲4	△5.2	14	10	▲4	△29.7
不動産及びサービス		18	19	1	2.6	8	8	0	6.4
その他		8	8	0	2.8	1	1	▲0	△23.3
調整額等						▲10	▲13	▲3	—
合計		2,289	2,360	71	3.1	212	223	11	4.9

（注）1 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

- 菓子食品事業は、inブランドを冠した菓子食品の商品群が含まれております。
- 通販事業及び事業子会社等は海外向けの売上高が含まれております。
- 米国事業は中国・台湾の米国向け輸出に係る利益が含まれております。
- 調整額等は主に事業に帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。